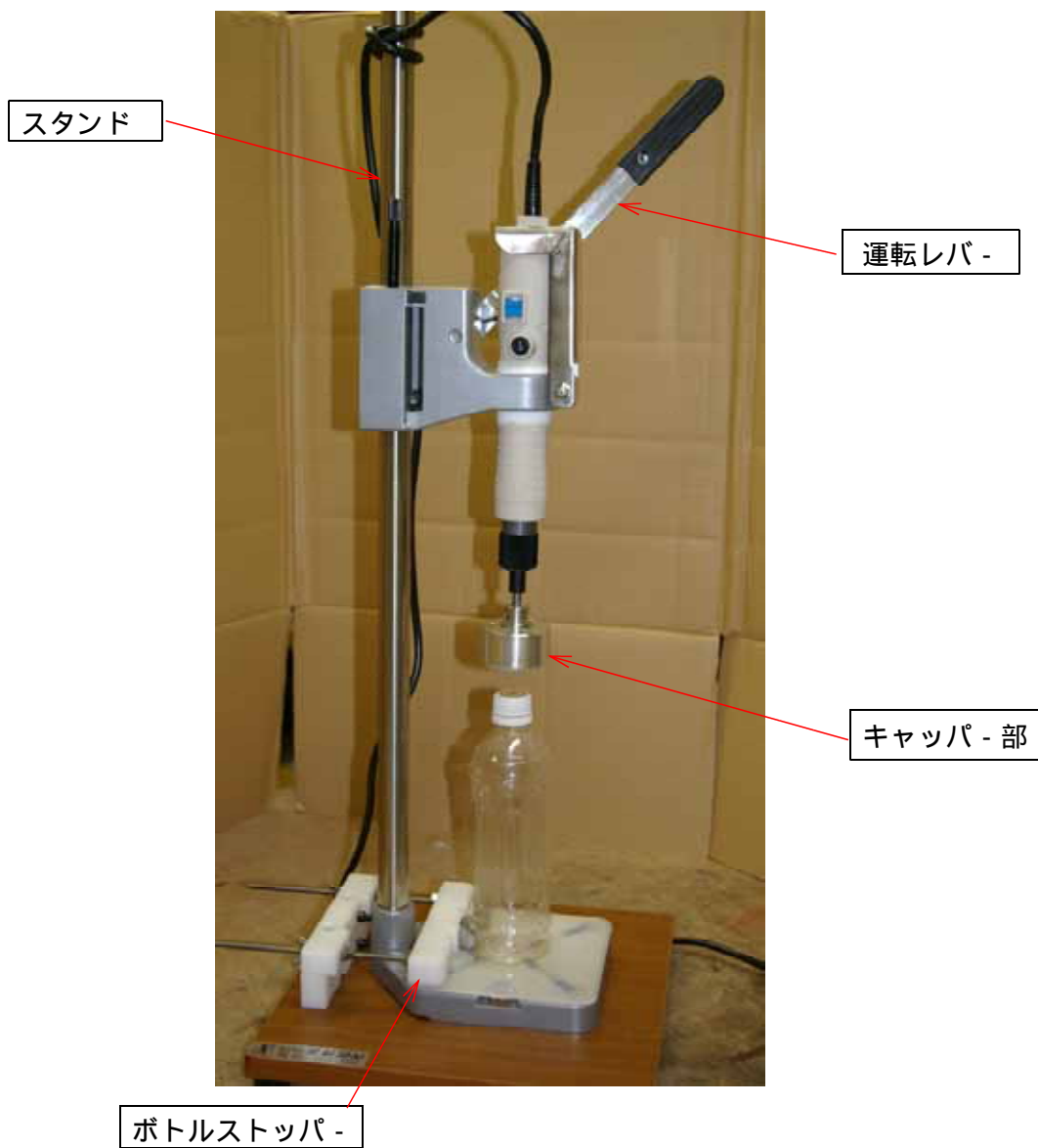


## 名称



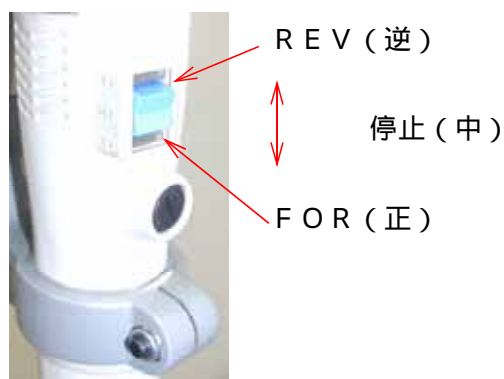
電 源	AC 100V - 40W
寸 法	巾300×奥350×高850
重 量	5Kg

## ご使用上の注意

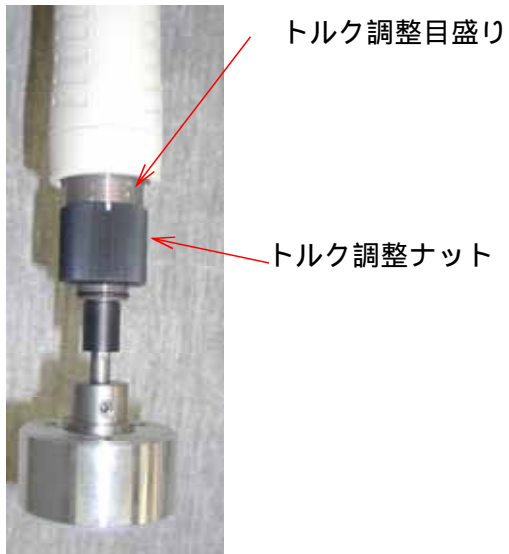
- ( 1 ) 本機は、本体とコ - ドが一体になっています。本体または、コ - ドに異常があるときは、分解せずにそのまま修理に出してください。
- ( 2 ) 本機にエア - ゾ - ルオイルなど絶対に注油しないで下さい。
- ( 3 ) 本機を落としたり、叩いたりすると外観が変形したり、亀裂や破損を生ずる事があります。取り扱いには十分注意して下さい。
- ( 4 ) 本機は、防爆構造ではありません。引火性の高い危険物の近くでは使用しないで下さい。
- ( 5 ) 本機のカバ - のお手入れに薬品類を使用しないで下さい。カバ - を損傷する事があります。
- ( 6 ) 電源プラグを抜く時には、コ - ドを引っぱらずプラグを持って行って下さい。
- ( 7 ) コ - ドを引きずったり、急な角度で曲げたりしないように出来ればスプリングバランス - で吊り下げてご使用下さい。
- ( 8 ) チャックの脱着や、点検、クリ - ニング時には、プラグを抜いて行って下さい。

## 使用方法

- ( 1 ) 電源プラグがコンセントから外れている事確かめ、「チャックの取り付け・取り外し方法」の項目を参考に、本体先端のカラ - を持ち上げながら、本体にチャック を差し込んで下さい。
- ( 2 ) トルク調整ナットにはクリクストップが付いています。これを廻してトルク調整目盛 3 - 4 の位置にセットします。
- ( 3 ) 電源プラグを A C 1 0 0 V コンセントに差し込んで下さい。
- ( 4 ) 本機は押し下げるとスイッチが入り締め付けが終わると瞬間的にクラッチとスイッチが切れるプッシュオンタイプです。  
スイッチを F O R ( 正 ) に倒して、容器にのせたキャップの頭部にインサ - トを押し付け、力強く一気に押し下げます。( この力加減は一寸練習が必要かも知れませんが、徐々に押し当てるより一気に押し下げの方が空回りしないで失敗せずに締める事が出来ます。 )  
モ - タ - が起動し、設定されたトルク値でキャップが締まると、本体のクラッチが切れモ - タ - も停止します。
- ( 5 ) キャップの締め具合が弱ければ、徐々にトルク値を上げて下さい。  
クラッチには、進行方向におよそ 1 2 0 ° 程の遊びがあります。もし、空転した場合にはクラッチがきかなくなるので、逆方向にクラッチに当たるまで戻して下さい。
- ( 6 ) スwitchを R E V ( 逆 ) にすると逆転しキャップを外すことが出来ます。



## トルクの調整



本体に付いているトルク調整目盛りは、トルク値を表すものではありません。  
キャップの締め付けトルクはキャップのネジを戻す時の力を測定して表されますが、  
キャップや容器の成形具合によっても変わります。  
初めから大きい数値にセットするとキャップに過度な摩耗を発生する事が有ります。  
低い目の数値から始め、少しずつ強くして行って下さい。

## チャックの本体への取り付け・取り外し方法

### ジョイントシャフト



シャフトカラ - の先端を指先で押し上げる。



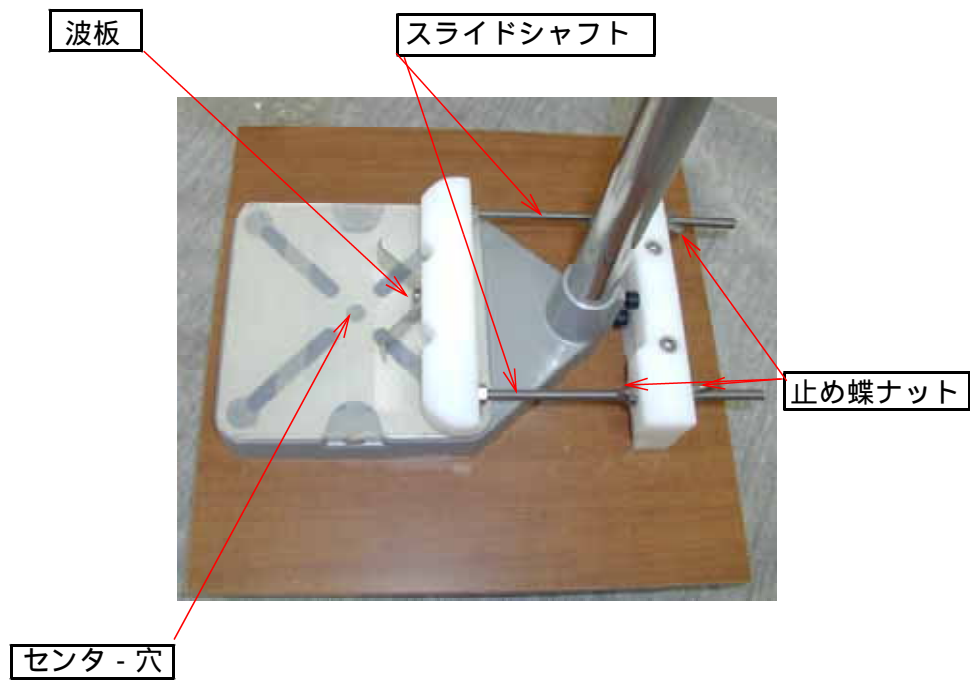
カラ - を押し上げながらチャックを  
”カッチ”と音するまで奥に差し  
込む



チャックはロックされ、指を放しても落ちない事を  
確かめる。

\* 取り外すときにはカラ - を押し上げてチャックを抜く。

## ボトルストッパ -



容器がセンタ - に位置するように止め蝶ナットを緩めて、スライドシャフトを前後させて蝶ナットで固定させて下さい。

## キャップ締め機の高さ調整

容器をスタンドに乗せて本体の止めネジを緩めて調整します。



容器の出し入れの隙間を空けてセットする。



止めネジ

**\* ナットは締めない事 (レバ - が硬くなります)**

## 締めストローク調整

1) クイックボタンを押しフリーにし運転レバ - を下げて、キャップの締め位置で放す。

シャフト軸



クイックボタン

ストローク目盛



(微調整の方法)

- 1) クイックボタンを押しフリーにし運転レバ - を下げて、キャップの締め位置で放す。
- 2) クイックボタンのシャフト軸を、左右に手で回して上下させて微調整して下さい。